

2019-7-12

ふじさわ・九条の会ニュース

No.57



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 吉塚晴夫 090-7949-9854

HP(ホームページ) <http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

検索「ふじさわ・九条の会」でも開けます。

いよいよ参議院選挙、 市民連合と野党共闘の前進で安倍内閣の改憲と悪政を止めよう

1. 市民と野党共闘結成の画期的意義

7月4日告示、21日の投票で参議院選挙が行われます。安倍内閣は今度の参議院選で3分の2以上の議席確保を狙い、憲法の改悪と消費税10%の実施、軍備拡張などを進めようとしています。これに対し市民連合と5野党・会派は13項目の政策協定を締結し、32の全1人区で野党候補を1本化し、統一して選挙を闘うことを確認しました。バラバラでは自公政権に勝てない中で、統一して闘おうという市民と野党の画期的共闘の前進です。

2. 市民と若者の投票率を上げ、 参議院選挙に勝とう

しかし、これまでの選挙の教訓の中で、せっかく統一が実現したのに、投票率が低く、統一候補が落選した事例がいくつもあります。安倍政権には反対なのに投票に行かなければ自公政権を勝たしてしまいます。これではなんにもなりません、「選挙に行こう」、「安倍政権を止めさせよう」と市民に訴えて投票率を上げる必要があります。特に若い世代にこのことを強く訴える必要があると思います。選挙法の改正で18才以上の高校生にも投票権がうまれました。街宣ではこうした高校生にも投票参加を強く訴えましょう。

3. 年金破壊、消費税引き上げの 安倍政治にストップを

安倍首相は、選挙が終わったら消費税を引き上げ、年金破壊、福祉切り捨てなど国民生活の破壊を狙っています。アベノミクスの正体が、経済をよくする

どころか、消費税は大企業の減税に使い、1000兆円以上の公的資金を株式投資に回し株価をつり上げ、一見景気良さそうに見せかけながら、国の財政悪化を更に膨らまし、そのツケを国民に押しつけようとしているのです。100才まで安心と言って改定してきた年金制度も、年金だけでは老後資金は足りなくなるので、夫婦で2000万円を投資などで貯めろ、などと言いつつ始末です。こうした中で消費税を上げたら経済はどうなるか、国民生活も福祉も出口のない所まで破壊されるのは火を見るよりもあきらかです。

4. 戦闘機の爆買いではなく、 奨学金引き上げ、公立保育園の増設、 最低賃金の引き上げ、老人福祉施設に使わせよう

政府は、トランプ大統領にいわれて1機百数十億円もするステルス戦闘機を100機以上も買い配備しようとしています。みんなで1兆数千億円にもなりません。これだけのお金があれば、どれだけ、公立保育園が建つか、老人福祉施設が建つか、学資の補助、最低賃金1500円以上の引き上げ出来るか、数え上げたらきりがありません。選挙に勝って、税金の使い方を変えさせる必要があります。

5. 沖縄の辺野古基地建設を止めさせ、 憲法9条を守ろう

安倍政権は今度の参議院選挙に勝って、自衛隊を憲法に明記し憲法を「改正」しようとしています。こうした安倍政権の狙いを市民に広く訴え、9条を守り、沖縄の辺野古基地の建設も止めさせましょう。

(小林 麻須男)



(左写真) 4野党1会派と市民連合による政策協定調印式 5月29日

県知事選開票作業に立ち会って

今こそ言論・表現の自由を活かそう

国民救援会神奈川県本部 田戸 俊秀

・Aさんは県知事選藤沢市選挙区の開票立会人をされました。立会人はどのように選ばれるのですか。

「候補者を出した政党、会派から推薦され県選管で抽選するのです。」

・開票所の作業とAさんが注目した点は何ですか。

「市内の投票所から運ばれた投票箱に鍵が掛けられているのを確認します。投票箱から出された票は自動読み取り機で分別され一定の束にされていきます。候補者別に束ねられた票を目視で確かめ表紙に押印するのです。」

読み取り機は「ムサシ」という会社が最大のシェアを有しており、この機械にプログラムが仕込まれて政権政党に有利な集計にしているのではないかと。という疑いがネット上で広がっています。実際には分別された全ての束を二回、各々違う人が一つ一つ確認していました。違う票があれば見逃すことはない、ということと不審な分別の余地はないだろうと思いました。」

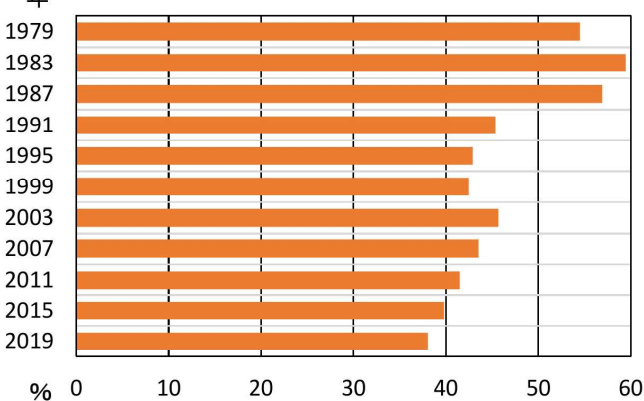
・立会人をやってみての感想は如何でしょう。

「白票が多かったことに驚きました。数千票はありましたね。投票することは棄権するよりは良いのかも知れませんが白票を投じることが何らかの意志表示になるとは、私には思えません。自分にとって多少ともましな候補に投票することで、初めて意志表示になるのではないのでしょうか。」

それから政党に投票する比例区は別として候補者に投票する場合、名前だけを書くこと。候補者名に傍線や波線を引いたりすると無効になります。これも初めて知ったことです。

今回の統一地方選で藤沢市は37～38%という低投票率でした。恥ずべきことです。個々の市民が選挙権を行使することは、自分の責務だと自覚しなければならぬと思います。」 (文責 吉塚晴夫)

神奈川県知事選挙投票率%の推移(藤沢市)



このところ総務省や自民党がNHK番組に介入(厳重注意)するとか、東京新聞の望月衣塑子記者を内閣記者会から排除するなど信じられない事態が起きていますが、“つゆ空に「九条守れ」の女性デモ”という俳句を埼玉県が公民館便りへの掲載を拒否したとか、辺野古の座り込みを書いた絵(版画)が出品された事から、茅ヶ崎市教育委員会が美術展への共催を拒否したなど、文化芸術の分野まで規制・介入が行われ、言論・表現の自由が脅かされています。

第二次世界大戦時の「大本営発表」が典型ですが、ファシズムにとって言論統制・情報操作は常套手段ですが、そのファシズム体制が最も恐れるのは、「真実」を明らかにすることです。

彼らの隠ぺいや改ざん、ねつ造、そしてフェイクニュースに対して真実を発信・報道していく事がファシズムへの道を止める大きな力になります。

「言論・表現の自由」は国際条約、憲法、多くの判例などでその重要性が示されていますが、ここでは「吉祥寺駅構内ビラ配布事件」上告審判決(昭和59年12月18日 昭和59(あ)206)最高裁判所の伊藤正己裁判官の補足意見の一部を紹介します。

その中で伊藤正己裁判官は次のように述べています。

「一般公衆が自由に入出りできる場所は、それぞれその本来の利用目的を備えているが、それは同時に、表現のための場として役立つことが少なくない。道路、公園、広場などは、その例である。これを「パブリック・フォーラム」と呼ぶことができよう。このパブリック・フォーラムが表現の場所として用いられるときには、所有権や、本来の利用目的のための管理権に基づく制約を受けざるをえないとしても、その機能にかんがみ、表現の自由の保障を可能な限り配慮する必要があると考えられる。」

伊藤裁判官の意見は、端的に言えば、「言論・表現の自由の権利」の前には所有権や管理権が制約を受ける場合もあるということで、例えば駅前広場などが鉄道会社の私有地であったとしても、「言論・表現の自由の権利」が優越し、規制すべきではないという論理なのです。

自由法曹団神奈川支部は、この観点から県内各地のペディストリアンデッキなどにある「ここでのビラ配布を禁じます」との掲示に対し、管理者に法的根拠がないので撤去するよう申し入れて撤去させるという成果をあげています。(2019.06.20記)

江ノ電沿線9条の会

初夏のつどい 『日本にとって沖縄とは』

1年ほど前に「沖縄や基地のことをどうしたら身近かに感じられるだろうか」と世話人の声がありました。そこで『日米地位協定』を読んでみようということになり、黒川さんのレポートで、そもそもどんなものなのか？から少しづつですが勉強を始めました。「日米地位協定」は安保条約をベースにして成り立っていることはわかって、なぜ不条理なことがまかり通り、被害に遭った市民や騒音に苦しむ国民の声が日本政府に届かないのか、外国ではその国の法律に合わない条文の改定がなされているのに、日本では政府から見直そうという声が上がったことがないことなどが分かればわかるほど『日本は主権国家じゃない。米国の属国なのか』と、胸が苦しくなっていました。

そんな時、亡くなった川崎健先生の同級生の川平朝清(かびらちようせい)さんをお呼びして、『日本(ヤマト)にとって沖縄(ウチナー)とは』のタイトルでお話していただくことになりました。川平家は琉球王朝に仕えた家柄ですが、川平さんは台湾生まれ台湾育ち。終戦後に沖縄に戻られて米軍の占領下で米国に留学し、帰国後、沖縄の公共放送にご尽力された方です。ご高齢にもかかわらず姿勢もお声も凛としていて、私たち素人にも分かるような易しい言葉でお話して下さいました。



(写真) 川平朝清さん 6月8日

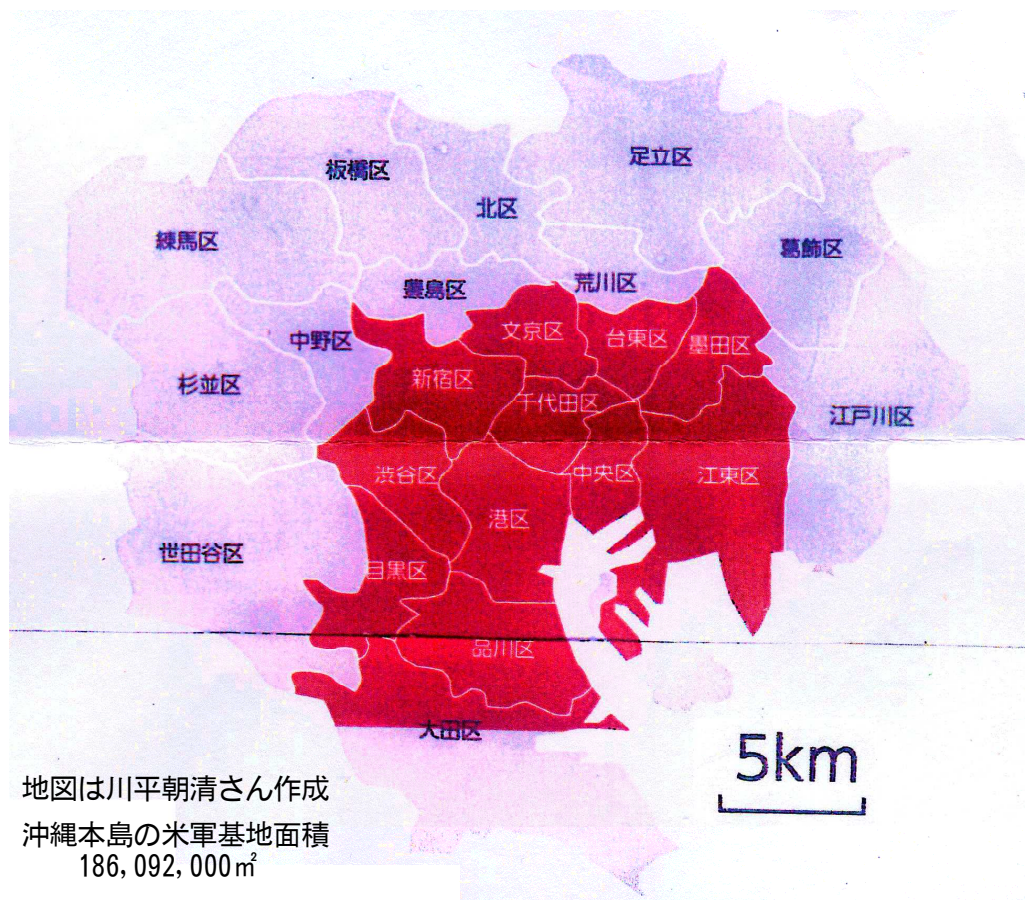
琉球の歴史と文化のお話からはヤマトに支配されながらも琉球人の誇りと不屈の精神が脈々と今に至っていることがわかりました。全国の米軍基地の70%が沖縄に集中していることは数字の上で知っていましたが、川平さんは独自に東京都の地図に基地を重ねて示されました。嘉手納基地は品川区全部と同じ面積、キャンプシュワブは港区がすっぽり入る面積という地図は、私たちにとって衝撃の実感でした。会場からの「日米地位協定は憲法より上にあるように感じますか？」の質問には、はっきりと「いえ、憲法が上にあるのですよ。」と応えて下さいました。そこにこそ私たちの未来があると感じました。

この日川平さんは、東京から片瀬まで三男の慈英さんの運転で来て下さったので、慈英さんは会場の一番後ろでお父様の話を聞いてくれました。実は、川平さんは「息子に私の話を聞かせたかった。家の中ではなかなかチャンスがないので」とおっしゃっていました。次の世代に語り継がなければならないことは急務ですが、川平親子にとって貴重な時間が持てたことはよかったです。

講演の最後に川平さんが「私は教会に行って皆さんに言うんです『安倍さんの為に祈りましょう』って。」会場に笑いが広がりました。

翁長知事の呼び掛けに応える動きが藤沢やほかの自治体でも始まっています。私たちの学習も、まだまだ続けます。

(折原美知子)



ふじさわ・九条の会14周年のつどい

4月29日(月)、ふじさわ・九条の会 14周年のつどいが、市民会館小ホールで開かれた。

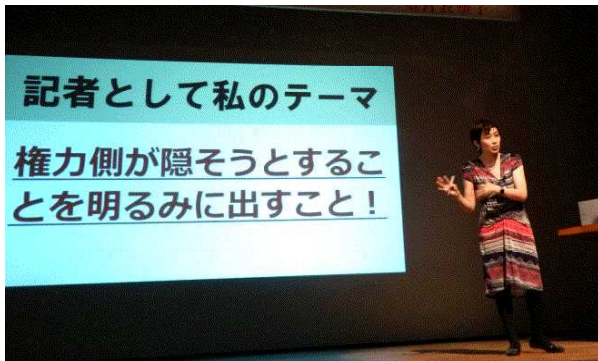
講師は、望月衣塑子さん。望月さんの発言に対して菅官房長官の数々の妨害や嫌がらせが、マスコミの表現の自由を阻むものとして、新聞にも取り上げられ、「時の人」のタイムリーな講演会になった。

大新聞や地域のミニコミ紙でも、この講演会の紹介がされたせいもあって、当日の参加者は510名になり、立ち見や場外で聞く人も出て、主催者がお詫びする嬉しい一幕もあった。

そして衣塑子さん(と呼ばせていただくのを許して欲しい)は、そう言いたくなるような快活でリズム感溢れる身振りりと、息もつかせぬ雄弁で、政府の一人ひとりを上げて、インチキさと嘘をユーモアたっぷりに暴露するので、聴衆は思わずその熱弁に引き込まれ、時を忘れて聴き入った。

「会見は政府のためでなく、メディアのためでもなく、国民の知る権利のため」

「私のテーマは、記者として、権力側が隠そうとすることを明るみに出すこと」という衣塑子さんに共感と激励の挨拶を贈りたい。(飯田 玲子)



(写真)講演する望月 衣塑子さん 2019.04.29

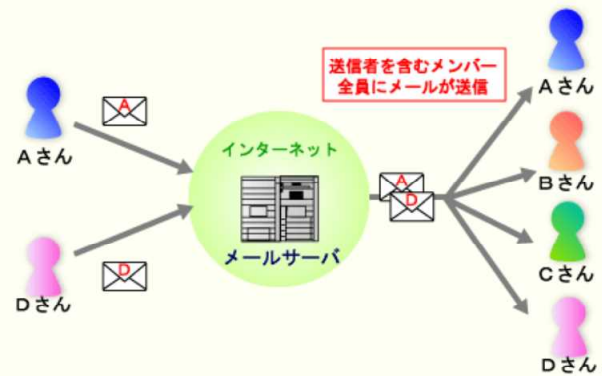


14周年のつどい後 **ピースパレード** を行いました。2019年4月29日

SNS連載コラム(その3)

① ML(メーリングリスト)メールのシステム変更。

- MLは、登録者間のメール一斉送受信の仕組みです。
- 発信者が固定化傾向です。情報、意見交換にご活用ください。
- ML運営会社の都合で、年末にサービス終了。
- **Googleシステム**に引っ越しました。(2019.7.1)
- **新しいMLアドレス**は(下記いずれでも送信可)
⇒ [ふじさわ9条の会ML](mailto:fujisawa9jonokai2@googlegroups.com)
fujisawa9jonokai2@googlegroups.com
- 登録参加者は、原則として賛同者の方。
世話人または、管理者にご連絡を。
(ezetakasuka2@gmail.com)
- MLは、携帯・スマホ・PCいずれでも可ですが、携帯では、文字数・機能に制約があります。



② ふじさわ・九条の会 HP(ホームページ)

トップページ	トピックス	資料・論文	情報・意見投稿	画像の記録
ニュース	9の日ハシレット	申合せ・計画	地域九条の会	リンク



- 日々、新しい情報更新に努めています。
- 今後も、地域九条の会情報、護憲・不戦資料なども、充実させていきます。
- **ふじさわ・九条の会** でネット検索できます。

(情報担当:高須賀 建郎)

〈お知らせ〉

不戦のちかい 8月15日(木)16:00~
辻堂駅北口2階通路

ふじさわ・九条の会秋の学習会 10月6日(日)
藤沢市民会館第2展示ホール 13:30~

アベ政治を許さない 藤沢駅南口2F
8/3(土)・9/3(火)・10/3(木) 13:00~

9の日 8月9日(金)15:00~ 片瀬江ノ島駅前
行動 9/9(月)15:00~10/9(水)13:30~藤沢駅南口1F

世話人会 7/29(月)18:30~・8/29(木)15:30~
9/30(月)18:30~・10/28(木)15:30~

事務局会 18:30~ 8/18(日)・9/18(水)・10/17(木)